

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名： 脳と意識分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	意識の解明はデカルト以来人間存在の根源にかかわり心理学、教育学、哲学、基礎・臨床医学、情報学など日本学術会議の1, 2, 3部の分野と密接につながる先端的なテーマである。ここ数年、実験心理学や認知脳科学などの分野で脳と意識の科学的研究が進展してきた。前頭葉における創発的思考、自己や他者の脳内表現の社会神経科学が新たな意識科学の領域を切り開きつつある。志向的な意識を支えるワーキングメモリや心の理論などがどのように高次脳の実行系機能とかかわるのかを検討し、意識研究に学際的なサイエンスの光をあてることを目的とする。教育、学力や高齢化社会とかかわる問題についても検討する。
4	審議事項	意識と高次社会脳とのかかわりについての先端研究の理解を通して、高度情報化社会がかかえる問題を検討し提言をまとめる。
5	設置期間	期限設置 年 月 日～ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	隣接領域について特任連携会員を依頼することがある